

日刊 磐城時報

編輯部 磐城石城郡平町新屋町吉
印刷部 磐城石城郡平町新屋町吉
發行部 磐城石城郡平町新屋町吉
電話 磐城石城郡平町新屋町吉
印刷部 磐城石城郡平町新屋町吉
電話 磐城石城郡平町新屋町吉

神谷村地内に 實彈射擊場設置

在軍聯合分會が

石城在郷軍人聯合分會では豫ね通危險に陥つたので過般來町當
て實彈射擊場を設置の計劃あり局では車馬自動車交通を禁止
敷地其の他に就いて協賛中であり最近同方面の交通
つたが愈々工費三百五十圓を投量は著しく増加し殊に城山方面
して神谷村中神谷地内に設置すからの警中、平商、第一、第二
る事と決定、昨四日着工したが小學校等の通學路だけに同橋を
來る廿日頃までは竣工の豫で腐朽今日のままに放置すれば危
ある。尙射擊場落成後第一回の豫此の上もないので地元方面の
實彈射擊大會を開催する等々で父兄居住者からは屢々此れが改
方最初の試みだけに期待されて修方を町當局に要請してゐるが
青沼町長は昨日畑山知事巡視の
途次を擁して特に同知事を案内
井上縣議等と共に此の改修を陳
情した。

高麗橋の 改修陳情

昨日知事に

平町八幡小路から六間門に通ず
る木橋高麗橋は腐朽甚だしく交師である。

煙草の賣上激増

炭礦の景氣好轉で 高級煙草が賣れる

平専賣所に於ける去月中の煙草然バットの二萬七千餘圓、三十
賣上高は總計五萬三千七百餘圓二萬九千九百餘圓が最高、次ぎは朝日
に達し前年同期と比較して約四七千四百四十圓、五萬三千餘圓、
千圓以上の大増加を示してゐる五萬圓、六萬一千餘圓、四萬圓
が此れは昨今景氣付いた炭礦界三萬八千餘圓、救急百圓、四萬圓
と一般財界の好轉から高級品の刻みはなでしこの一萬圓、十二
賣上増加によるもので内譯は彼萬圓が最高である。

設立の水産校 陳情

小名濱築港豫算の削減反對を三
日出仙内務省仙臺土木出張所に
陳情した小野町長一行は歸途福
島に立寄り多年地方から要望さ
れてゐる縣立水産學校の設立實
現の陳情を爲した。

四倉青年役員會

四倉青年團では昨四日午後七時
午前十一時から町内社總代出席

國際拳闘公開

來廿一日聚樂館で 名選手多數出場

好間村出身の名ボクサーとして
知られてゐる日拳選手藤原一
君は過般東都の日佛對抗戦に日
本代表選手として出場した藤田
選手、フイリツピンの弱者キッ
ト、ダイヤオ選手以下數名の外
人選手を加へた一行二十餘名と
共に來平來る廿一日午後二時及
午後六時の晝夜二回に亘り聚樂
館に一大國際拳闘試合を公開す
る事になつた、尙當日は地方選
手の飛入を歓迎してゐるが既に
柔道三段の猛者花澤行雄君外一
名の挑戦申込みがあり人気沸騰
してゐる。

平町に電話開通の話

憎まれ乍ら勧誘した 六名の委員の懷舊談

二丁目の山崎活版所山崎運吉
氏方を訪れたのは翌年の正月
であつた「一番はまだなだた
も取りになりませぬね」と
運吉氏は不思議さうな顔をし
た。「え、皆んな遠慮して一番
をとつてくれませぬ」は萬
物の始まり、正月早々縁起が

警官小異動

昨日發令

縣下警察官の異動は昨日發表
されたが、平署關係の分は
命保原署へ、部長佐々木岩雄
命平署へ(須賀川)部長渡部温
命若松署へ、巡查 鈴木 郁
命平署へ白河巡查佐々木末藏

錦織の川前溪谷 觀楓客に賑ふ

日曜には全列車 江田に假停車

秋甜! 其の絶景を錦織の紅葉祭日には警越東線全旅客列車を
美に、近年漸く名高い川前溪谷川前小川郷中間の江田宿所
は既に満山黄に紅に採られて白に臨時停車し觀楓客の輸送に備
沫飛瀑の夏井の清流に泛んだ楓
葉の一片、二片次第に色濃く、
紅葉の秋と觀賞する人々の杖杖
く姿もボツ／＼見られるが、鐵
道省では藝に各地からの觀楓客
に汽車賃二割引を發表した來る
十一月三、五、十二、二十九、
協議會は六日午後一時から平署
は白河町新藏遊廊で泥酔暴行し
て白河署に檢束された。

自動車協會 四支部聯合

縣自動車
協會平、
植田、四倉、富岡四支部聯合の
協議會は六日午後一時から平署
は白河町新藏遊廊で泥酔暴行し
て白河署に檢束された。

大浦審判生

大浦青年訓
練生徒約三
十餘名は昨日午前四時根本、
大藥兩氏引率のもとに五時大浦
校に集合の上出發し一泊の豫定
で双葉郡廣野村折木方面に行
軍した。

金華山檢束

平町字仲間
町生れ當時住所不定無職元東京
相撲金華山事青木森之助(一九)
は白河町新藏遊廊で泥酔暴行し
て白河署に檢束された。

圖太一男二人 衣類十餘点窃取

平町字八幡小路居住東京市北千つて二階に忍び入り押入れから
住町生れ大工職伊藤健藏(四七)女中の衣類十餘點價格二十餘圓
同人方同居人引地貞義(二四)の窃取逃走せんとしたのを發見
兩名は三日午後十時頃平町五町五丁目急報に依つて馳付けた平署
目飲食店前庭事菊地八重方での込堂巡査に逮捕されたが餘罪
こたみ飲食した土家人の隙を視顧る多い見込で引續嚴重取調中

武藤末亡人逝く

元四倉町長武藤英武氏末亡人ト
ヨ子女史は豫ねて病氣療養中の
ところ三日午後九時遂に永眠し
た、享年六十九才、尙本日午後
二時同町海線寺で葬儀を舉行し
た。

平署友會

では來る九日午後
一時から平署會議室に定時總會
を開催する。

越銀行頭取中野甲蔵氏

そのの頃の思ひ出(三)
越銀行頭取中野甲蔵氏、その
他から莫大な贈金を條件に交
換を申し込まれたとの事であ
る。銀行業者は免角三といふ
字が好きと見えて平銀行が三
番、磐城銀行が三十三番を
撰んだ。四丁目では百澤商店
が番地に因んで十二番、その
外加入したのは關内藥局四十
番、伊勢屋商店三十五番位
もの、五丁目釜屋商店諸橋久
太郎氏は「久」は「九」に通ず
として人が余り好まなかつた九
番を取つた、斯んな工合で三
四ヶ月奔走し發起人六名は一
人で二口乃至三口位の責任を
持つた結果百三十口程承諾が

大増收の 郡下稻作況

十九萬三千餘石
既報郡下の稻作況は郡農會の最後調査の結果收穫十九萬一千廿七石(水田)二千七十二石(陸田)合計十九萬三千二百八十九石と豫想されてゐるが、前年度より二萬六千四百七十七石、即ち一割二分強の大増收を見る事は確實で第一回の表豫想の一割増收を遙に突破した好成绩である。

女留置人の死

(六) 一警察官の手記
そしてこんなことを想像して見た。彼の女の母が懐胎中何かの原因にてその夫を殺した、そして自分も彼の女を産み落してから死刑にされたんだ。こんなことを推理してみてもう譯もなく嬉れしい様な氣持になつて一人て黙つて居るやうなやつにその事を喋言つてしまつたのだ。事實さうかどうかも判らなないのだから黙つて居ればよかつたんだが、まだ経験が淺かつたんだね、女は「ソウ」と云つて鐵格子越しに私を見上げたつたが本當かしらと云つてそのまゝ寝てしまつた。だがその聲は何となく淋しかつたよ。
わしはその内交替時間が来て寢てしまつたんだ。世の中は皮肉なもので、或はそれが運命だつたかも知れないし、わしも若かつたね、そんな事言はなければ何もなかつたんだが、女は次の朝屍体となつて居つたよ、着物の襟を裂ひて縊死したんだ。

平町人事

△出生
平町新川町三丹野藤一氏二男
優、鎌田町五六武藤喜悅氏長男幸悦、研町草野清氏次男正

病氣に悩む方

磁氣療法を試みられよ
マケネタイザ
十月五日開院

工學博士藤山常一先生の大発見、日、英、米、佛、白瑞各國特許權を有する磁氣療法は醫學界を風靡し治療の奇蹟的効果について社會を驚嘆せしめてゐます。
磁氣療法は從來の電氣治療とは全く異り根本的治療で着物を着たまゝ氣持よく治療が出来絶対に副作用の危険がありません。

適應 血脈亢進、半身不隨、慢性胃腸、神經衰弱、不眠症、婦人諸病、精力減退、肝門病、淋病、ロイマチス、神經痛、關節炎、打撲傷、肋膜炎、肺炎、其他慢性疾患

氣分のすぐれぬ方
肩のこる方
目まひのする方
耳鳴のする方
は今すぐに中風豫防として試みられよ

◎治療時間 朝八時より夜九時まで
◎治療料 一回金壹圓のところが普及のため金五拾錢

本院特派東北地方
宣傳治療所 平磁氣治療院

御華客様本位の弊店で今回「ひな鳥水たき」『季節の松茸料理』を始めました。風味を吟味した上精々勉強して御奉仕する考ですから何卒御尊來御試食の程御待ち申して居ります。

ひな鳥
水たき
松茸料理

◎料理は毎日献立を替えて調理致します
◎御宴會、出前は如何様にも御相談に應じます

平町宇田屋町

住吉屋本店
割烹部

電話一五九番

おまほは六 製造
折詰生造
平町一丁目
電話一四一番

た惣菜用
さつま揚
吉原揚
平町一丁目
電話一四一番

ユニオン 王冠 一ヶ
武鏡
右買受期間が迫りました
御忘れなく御持越願ひます。

永山酒店
電話二〇七番

平町田町(電話五二三番)

高久病院
醫學士 高久 忠
新瀉醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 菊雄

内科 小兒科
耳鼻咽喉科
外科花柳病科
レントゲン科

花柳病科
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平四五〇七番

病室完備
平町南一町
X光線科
上田外科醫院
電話一二九番

御土産用
石城鯉節・塩辛

御進物用として品質を吟味し体裁優美に包装し廉價で販賣致します、多少に拘はらず御用命下さい。

平町土橋

鈴藏魚店
電話六六二番

吸入用酸素 純度 99%
モノサシ
マノサシ
ハカリ
体温器
寒暖計

●寫眞
●秤ノ取緒・錘糸・修覆致シマス
●關内藥局
電話四〇番

●寫眞
●秤ノ取緒・錘糸・修覆致シマス
●關内藥局
電話四〇番

平看護婦會
會長 清野キヨ
平町宇田町 電話三〇七番

看護婦派出の需めに應じます